

事業概略書

事業名	障害のある人の実演芸術「パフォーミングアーツ」に関する調査研究事業
事業目的	<p>障害者の芸術文化活動を通じた社会参加が注目され、絵画や陶芸など視覚芸術(ビジュアルアーツ)を対象とした展覧会も数多く開催されるようになってきた。</p> <p>一方で、これら視覚芸術とあわせてダンスや音楽等の舞台上での表現としての実演芸術(パフォーミングアーツ)も注目されつつある。実演芸術(パフォーミングアーツ)は、既存の演劇やパフォーマンスを超えた新しい表現を通して「障害」の枠を超えて評価されはじめているが、体系的な調査や研究は行われていない。</p> <p>この事業では、全国各地で行われている表現活動の現場を訪ねて活動の実態を把握するとともに、公開ワークショップ等を通じて、実演芸術(パフォーミングアーツ)の現状と課題、可能性について研究を行う。</p>
事業概要	<p>研究に際して、これまでの研究や報告書から実演芸術の現状について把握を行ったところ、体系的な研究がないことがわかった。予備調査として、既存の活動報告書などで注目される団体を訪問し、調査研究への参画の依頼を行った。</p> <p>予備調査を通じて、障害のある人の実演芸術・表現活動について評価・研究できる関係者・関係団体で研究会を組織した。小暮宣雄氏を座長に研究会を3回、近畿圏の研究委員による研究打合せ会(10回)開催し検討を重ねた。(7~12月)</p> <p>2月に公開研究会を開催し、検討結果の発表と模擬空間(ワークショップ)の場を設け、実演芸術(パフォーミングアーツ)の可能性と推進を図った。(350名の参加があった。)また、全国の実演芸術の実態把握を行うための調査を、全国6ブロックの拠点団体により実施する予定であったが、網羅的な調査が困難な現状があったため、近畿地区に限定した悉皆調査を行った。その中で特に注目される団体に対して訪問調査を行った。これら成果を報告書にまとめ配付した。</p>
事業実施結果及び効果	<p><結果> 障害のある人の実演芸術の裾野は広がっており、絵画・創作活動以外の自己表現として教育や指導・療育だけでない社会参加が行われ始めている。また、学校・施設以外の外部の指導者・参加者の関わりが広がっている。一方で、既存の枠組み(学習発表や施設行事)を超えられずに今後の活動を模索している実態がある。プロデュースやコーディネイトなど直接指導・援助に関わるスタッフ以外の参画と情報提供の仕組みが必要とされている。</p> <p><効果> 研究を通じて実演芸術の機会やノウハウが紹介されることで、学校や施設・地域活動などにおける活動に広がり期待できる。また、絵画等の視覚芸術などに加えて、実演芸術という新しい分野・視野で社会参加が期待できる。</p>
事業主体	<p>〒520-3202 滋賀県湖南市西峰町1-1</p> <p>社会福祉法人オープンスペースれがーと</p> <p>TEL : 0748-75-7182 E-MAIL : legato@biwako.ne.jp</p>